

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。  
「奨学金案内」冊子及び【用紙①】より外してご利用ください。

本年見込用(表)

## 収入計算書 [本年見込 (2020年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 群馬 大学 教育学 研究科

○課程 (該当の数字に○) :

- ① 修士・博士前期課程    2. 博士後期課程    3. 博士医・歯・薬 (4 年制)・獣医学課程    4. 法科大学院

○氏名 群大太郎 (印)    ○学籍番号 E20/XXXX

【収入の状況】 (A・B の該当する方に、「○」を付けてください。)

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年の1.2.の各項目のみ記入が必要。</li> <li>前年の収入額が分かる証明書類のみ提出が必要。</li> </ul>
B	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下1.2.の各項目を全て記入 (前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入)。</li> <li>以下1.の証明書類は変動のあるもののみ提出。</li> <li>前年の1.2.の各項目も全て記入 (前年1.の証明書類も必要)。</li> </ul>

[各項目 1 万円未満切り捨て]

	収入項目	収入額 (B)
定職 (◎)	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (◎)	アルバイト 1	(年額) <u>70</u> 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
父母等からの給付額 (★)		(年額) <u>13</u> 万円
奨学金		(年額) <u>60</u> 万円
その他の収入 (利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩等)		(年額) <u>10</u> 万円
イ	収入見込額合計 (※)	(年額) <u>153</u> 万円

支出項目	支出額
日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) <u>55</u> 万円
授業料	(年額) <u>53</u> 万円
通学費 (定期代等)	(年額) 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) <u>45</u> 万円
支出見込額合計 (※)	(年額) <u>153</u> 万円

【記入時の注意事項】  
 ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入 (アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入)。ただし、証明書類は全て提出してください。  
 ★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。  
 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費 (世帯年間経費/家族人数) を記入してください。

※ 「収入見込額合計」 ≥ 「支出見込額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。

収入額合計は、0 万円とならないよう記入してください。

【事由】

必要となる証明書類は裏面に添付してください。

[裏面につづく]

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用 (裏)

証明書類貼付欄

- ・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホッチキスで上部 2 点を留めてください。
- ・ 収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 群大 太郎

○給付者氏名【自署・押印】 群大 一郎 (印) ○申込者との関係(続柄) 父

[各項目 千円単位 (千円未満切り捨て) : 合計欄のみ 1 万円未満切り捨て]

2020年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	2020年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	10 千円	千円	千円	千円	8月	10 千円	千円	千円	千円
2月	10				9月	10			
3月	10				10月	10			
4月	10				11月	10			
5月	10				12月	20			
6月	1.0				小計	130 千円	千円	千円	千円
7月	10				合計				1.3 万円

[月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用が表面の位置とは方を反対に becoming 注意ください。

前年用 (表)

収入計算書 [前年 (2019 年 1 月 ~ 12 月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み (「スカラネット」への入力) を行います。

○学校名 群馬馬 大学 教育学 研究科

○課程 (該当の数字に○) :

- ① 修士・博士前期課程    2. 博士後期課程    3. 博士医・歯・薬 (4 年制)・獣医学課程    4. 法科大学院

○氏名 群大太郎 (印)

○学籍番号 E20/XXXX

[各項目 1 万円未満切り捨て]

1. 前年 (2019 年 1 月 ~ 12 月) の収入額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) <u>60</u> 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) <u>23</u> 万円
	奨学金	(年額) <u>60</u> 万円
	その他の収入 (利子・配当・不動産・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等)	(年額) <u>10</u> 万円
ア	収入額合計 (※)	(年額) <u>153</u> 万円

2. 申込者本人 1 人にかかる前年 (2019 年 1 月 ~ 12 月) の支出額 [申告のみ: 支出についての証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) <u>55</u> 万円
授業料	(年額) <u>53</u> 万円
通学費 (定期代等)	(年額) 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) <u>45</u> 万円
支出額合計 (※)	(年額) <u>153</u> 万円
【記入時の注意事項】	
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入 (アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入)。ただし、証明書類は全て提出してください。	
★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。	
☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費 (世帯年間経費/家族人数) を記入してください。	

※ 「収入額合計」≥「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。収入額合計は、0 万円にならないよう記入してください。

・この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込 (前年に対して変動が見込まれる場合に限る) の収入金額をスカラネットに入力してください。  
・必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

前年用 (裏)

証明書類貼付欄

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホッチキスで上部2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。  
 その場合、本用紙への貼付は不要です。  
 書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 群大 太郎

○給付者氏名【自署・押印】 群大 一郎 (印) ○申込者との関係(続柄) 父

[各項目 千円単位 (千円未満切り捨て) : 合計欄のみ 1万円未満切り捨て]

2019年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	2019年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	20千円	千円	千円	千円	8月	20千円	千円	千円	千円
2月	20				9月	20			
3月	20				10月	20			
4月	20				11月	20			
5月	20				12月	10			
6月	20				小計	230千円	千円	千円	千円
7月	20				合計				23 万円

[月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。]

前年用と本年用見入用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。